
令和3（2021）年度

栃木県環境マネジメントシステム（EMS）の全体評価について

令和3（2021）年度 栃木県環境マネジメントシステム（EMS）の全体評価について

「栃木県環境管理マニュアル（第12版）」に基づき、今年度のEMSの運用状況、EMS自己点検の結果を踏まえ、全体評価を行った結果、次のとおり改善指示を行うもの。

1 評価対象

（1）期間 令和3（2021）年度 （2）所属 EMS適用の318所属

2 全体評価

R3年度全庁目標は「**環境法令等の遵守**」「**県庁の温室効果ガス排出量の削減**」「**緊急事態への準備**」の3点である。

EMS自己点検の結果、「環境法令の遵守」及び「緊急事態への準備」における取組について、概ね適切であった。しかし、「**県庁の温室効果ガス排出量の削減**」について、過去5カ年の傾向で見た場合には減少傾向にあるものの、2050年カーボンニュートラル実現のためには、さらなる削減が必要である。

今後は、2050年カーボンニュートラル実現に向けて、職員の省エネ意識の徹底だけでなく、県有車両へのEV導入や県有施設の省エネ改修を加速化させていく必要がある。

3 改善指示

R2（2020）年度12月、県は、2050年カーボンニュートラル実現を目指すことを宣言した。現在はロードマップを策定し、目標達成に向けた必要な取組の具体的な行程表を示したところ。

目標の達成に向けて、県は旗振り役であり、大規模排出事業者でもあることから、各所属においては、今後、より率先して温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいくこと。